

# 情報公開用文書

表題：「脊髄クモ膜下麻酔による帝王切開時の低血圧の予防と治療」についてのご説明

(1) 研究の背景、研究の目的と必要性

予定帝王切開術の麻酔として、脊髄クモ膜下麻酔が多く行われています。低血圧の程度と頻度を軽減するため、脊麻薬ブピバカインの希釈と分割注入を行い、総量を6mgとした群とブピバカインの総量を6mgに制限せず、担当麻酔科医の判断で行われた脊髄クモ膜下麻酔症例の脊麻薬ブピバカインの総量と昇圧剤の使用頻度・総使用量を比較検討します。

(2) 研究対象者

当院、産科周産期科において平成23年4月1日から平成29年3月31日まで脊髄クモ膜下麻酔下で予定帝王切開術を受けられた方を対象にしています。

(3) 患者さんの費用負担について

過去のデータを使用するので、余分な負担は生じません。

(4) 観察・検査項目と方法

本院で脊髄クモ膜下麻酔下で行われた予定帝王切開術の過去のデータからブピバカインの総量と、昇圧剤の使用頻度・使用総量を調べます。

(5) 予定症例数

当院 100 症例

(6) 研究期間

病院長承認日から平成32年3月31日まで

(7) 患者さんの個人情報の管理について

本研究では、個人情報の漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データの数値化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取っています。本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

(8) 患者さんがこの研究に診療データを提供したくない場合の措置について

本院で、平成23年4月1日から平成29年3月31日までの間で、脊髄クモ膜下麻酔下で予定帝王切開術を受けられた方で、この研究に診療データを提供したくない方は下記までご連絡下さい。ただし、御連絡をいただいた時点で既に、研究結果が論文などに公表されている場合や、研究データの解析が終了している場合には、解析結果等からあなたに関するデータを取り除くことが出来ず、研究参加を取りやめることが出来なくなります。

(10) 医学上の貢献

本研究の成果は、帝王切開術の麻酔として、骨髄クモ膜下麻酔を行うに当たって、より安全な麻酔管理の一助になり、患者さんの治療と健康に貢献出来ます。

(11) 問い合わせ先

〒060-8543 北海道札幌市中央区南1条西16丁目  
札幌医科大学附属病院 麻酔科  
本院研究責任者：山蔭 道明、同研究協力者：難波 芳道  
TEL(011)611-2111 内線 35680 (教室)  
教室直通電話（平日、夜間、休日すべて共通）Tel (011-688-9663)